

福岡県における普通植物の分布

金井 弘夫

〒184-0013 小金井市前原町5-8-7

Distribution of Popular Plants in Fukuoka Prefecture, Western Japan

Hiroo Kanai

5-8-7, Maehara-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0013, Japan

Abstract Distribution of 31 popular plants (Tab. 1 and Figs. 2 to 17) in Fukuoka prefecture, western Japan was surveyed in cooperation with local botanists. *Reynoutria sachalinensis* (Fig. 3B) is 'naturalized' in Kitakyushu-shi. It was not detected by floral survey in 1990-'91 and found in 1993. Supposedly it was introduced by recent construction works. *Macleaya cordata* and *Kerria japonica* are no longer popular in the region. *Geranium thunbergii*, *Youngia denticulata* and *Adenocaulon himalaicum* retreat to hill region in different amount.

Key words: Popular plants, Fukuoka, distribution.

福岡県における普通植物の分布調査を、1996、1997年に地域在住研究者の協力を得て行った。手法については従来と同じであるので、金井1993、1995および表1を参照されたい。分布情報を提供していただいた石川昭子氏、井上喜久子氏、猪上信義氏、清水悦子氏、須田隆一氏、筒井貞雄氏、手嶋裕行氏、時田房恵氏、中原敬治氏、橋川潤氏、原田英子氏、宝理信也氏、森本利二氏、横枕保徳氏に感謝する。とりわけ協力者の紹介をいただいた筒井貞雄氏に重ねて謝意を表する。

分布情報の数は総計10,409件であった。本報では表示メッシュを5倍メッシュ(2.5万図の1/4)とする。この場合県の全メッシュ数は244個である。ただし小島嶼部は調査が行い難い地域もあるので、他県とのバランス上これに相当する10個は除外し、234個を有効メッシュ率の分母とする。本調査では有効メッシュ(なんらかの情報が得られたメッシュ)は219個(図1A)、有効メッシュ率は93%である。この値はこれ迄の他県の結果と比較して、調査がきわめてよく行われたことを意味する。情報量が非常に多かったので、調査地点の散らばり方を見るために、表示単位を分メッシュで描いてみた(図1B)。この場合、表示メッシュより粗な5倍メッシュ(Locality Indexを含む)による記録は、プログラムによって自動的に除外した。調査地点は採集・観察の対象となり易い山地部に密で、平野部に疎な傾向がある。本報のような、個人の任意の行動に基づく調査では当然の結果であるが、得られた分布パターンを解釈するとき、たとえば「イタドリ(図3A)は平地に少

なく山地に多い」などと言おうとする際には、こういう下地があることに留意する必要がある。

情報の年代は1980年代以降が98%を占めており、古い時代を区別しても大勢に影響がないので、一括して扱った。テイカカズラとケテイカカズラは野外の視認では識別が困難なので、区別せずにテイカカズラとして扱った。分布パターンを理解する一助として等高線は有用であるが、小縮尺図では等高線と分布マークが輻輳して見づらくなるので、本報では有効メッシュ図（図1A, B）のほか、いくつかの種類についてのみ、参考のため200mの等高線を描いた。等高線は200, 1500, 2500mについて、全国どの地域でも表示できるようになった。

オオイタドリの産地は北九州市の山田緑地で、原田英子氏の調査票による。この場所は第2次大戦中は陸軍の弾薬庫、戦後は米軍施設として使用され、1982年に返還、1990年に北九州市に払下げられてから緑地として整備されたが、その際の調査（畑中ら1992）では本種は記録されなかった。ところが1993年に真崎博氏らによって数本の生育が見出され、そのことはAnonym 1994に記録されている。時田房恵氏によると、1997年には驚くほどふえているとのことである。本種の由来を1950年代の朝鮮戦争の頃に米軍によって持ち込まれたとする見方もあるが、朝鮮半島には鬱陵島以外には本種は生育しておらず、また1993年にはごく少量であったことから、その旺盛な繁殖力からみて、もっと最近の移入である可能性が高い。これまでの他県の調査でもオオイタドリの国内帰化の例があり、多くは道路工事、造成工事に伴うものであることから、緑地化工事に伴うものと考えの方がもっともらしく思われる。この考え方に立てば山田緑地のオオイタドリは、帰化の時点を文献的に特定できる珍しい例となる。Anonym 1994は俳句と自然観察のグループ誌で、将来フロラ研究者の視野から失われる心配があるので、植物同好会誌などに再度記録しておくことが望まれる。

ゲンノショウコ、ヤクシソウはほとんどが山地部に限定されている。ノブキはその傾向が一層強い。タケニグサ、ヤマブキはこの地域ではもはや普通とはいえない産状である。

引用文献

- 金井弘夫, 1993. 岐阜県における普通植物の分布. 国立科学博物館研究報告B, 19: 59-78.
金井弘夫, 1995. 滋賀県における普通植物の分布. 国立科学博物館研究報告B, 21: 131-150.
環境庁, 1987. 植物目録.
畑中健一・井上タミエ・時田房恵・大野睦子, 1992. 山田緑地の植物相. In 山田緑地の自然 p. 45-75.
Anonym, 1994. 採集ニュース. 歌と植物を語る会, (14): 24.

表1. 調査対象植物と福岡県の有効メッシュ(219)に対する出現比. 配列は植物コード順. 植物コード: 環境庁1987の種番号. (Plant code: Environment Agency 1987)情報数: 植物産地の件数. (Number of record)分布点数: 分布図に用いられた表示用メッシュ(本報では5倍メッシュ)において, その種が存在するメッシュの数. (Number of mesh with plant record)分布密度=分布点数/有効メッシュ数. (Record size/219)

植物名	Plant Name	植物コード [*] Plant code	情報数 Record Size	分布点数 ¹⁾ No.of Point	分布密度 Density (%)	分布図 Fig.
有効メッシュ	Valid Mesh (expected 234+10)			219(10)		1A
カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>	12600	173	85(1)	38.8	5A
イトドリ	<i>Reynoutria japonica</i>	14320	277	86(1)	39.3	3A
オオイトドリ	<i>Reynoutria sachalinensis</i>	14360	1	1(0)	0.5	3B
スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	14600	186	60(2)	27.4	9A
ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	15130	187	58(3)	26.5	10B
アケビ	<i>Akebia quinata</i>	19210	356	110(5)	50.2	2B
トクサミ	<i>Houttuynia cordata</i>	19510	459	152(4)	69.4	12A
タケニクサ	<i>Macleaya cordata</i>	21570	18	12(0)	5.5	9B
ナズナ	<i>Capsella bursapastoris</i>	21830	306	100(2)	45.7	12B
ヤマアキ	<i>Kerria japonica</i>	25390	22	7(0)	3.2	17A
ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>	27170	337	108(6)	49.3	13A
ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>	28220	400	134(6)	61.2	14A
コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>	28960	168	77(2)	35.2	7B
クサ	<i>Pueraria lobata</i>	29680	608	166(7)	75.8	6B
シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	29860	378	135(4)	61.6	8A
ケンシヨウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	30630	260	79(2)	36.1	7A
アカメカシラ	<i>Mallotus japonicus</i>	31350	681	177(8)	80.8	2A
スルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburgii</i>	32260	441	144(2)	65.8	13B
ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>	34850	343	107(5)	48.9	16B
テイカカズラ ²⁾	<i>Tracherospermum asiaticum</i>	45190	673	181(8)	82.6	11B
ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	46740	631	178(6)	81.3	15B
クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>	47850	397	136(6)	62.1	6A
オオイスノク ¹⁾	<i>Veronica persica</i>	51420	413	134(4)	61.2	4A
キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i>	51690	304	117(3)	53.4	5B
オオハコ	<i>Plantago asiatica</i>	52300	543	159(6)	72.6	4B
スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>	52720	526	159(7)	72.6	8B
ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i>	54480	59	25(0)	11.4	14B
フキ	<i>Petasites japonicus</i>	58870	355	108(2)	49.3	15A
ヤクシソウ	<i>Youngia denticulata</i>	60390	155	75(1)	34.2	16A
ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	65090	474	155(6)	70.8	11A
チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>	69520	273	100(2)	45.7	10A

1) カッコ内は小島嶼の分で勘定外. (Extra number for islets is in parentheses.)

2) ケテイカカズラを区別しない. (Including *T. jasminoides*.)

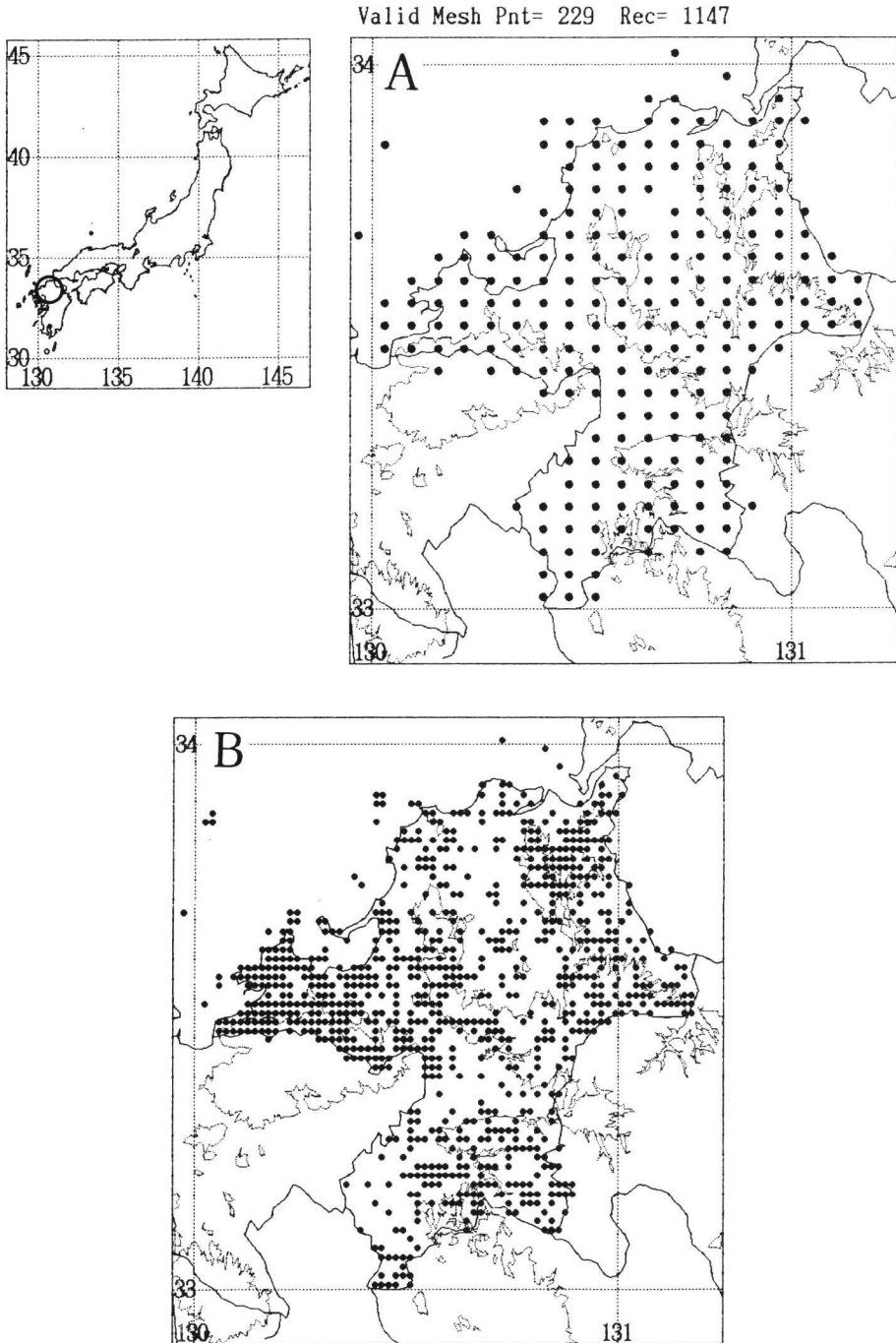


図1. A：有効メッシュ. 等高線は200 m. (Valid mesh. Contour 200 m.) B：調査地点を分単位のメッシュで表示. (Surveyed spots shown in minutes.)

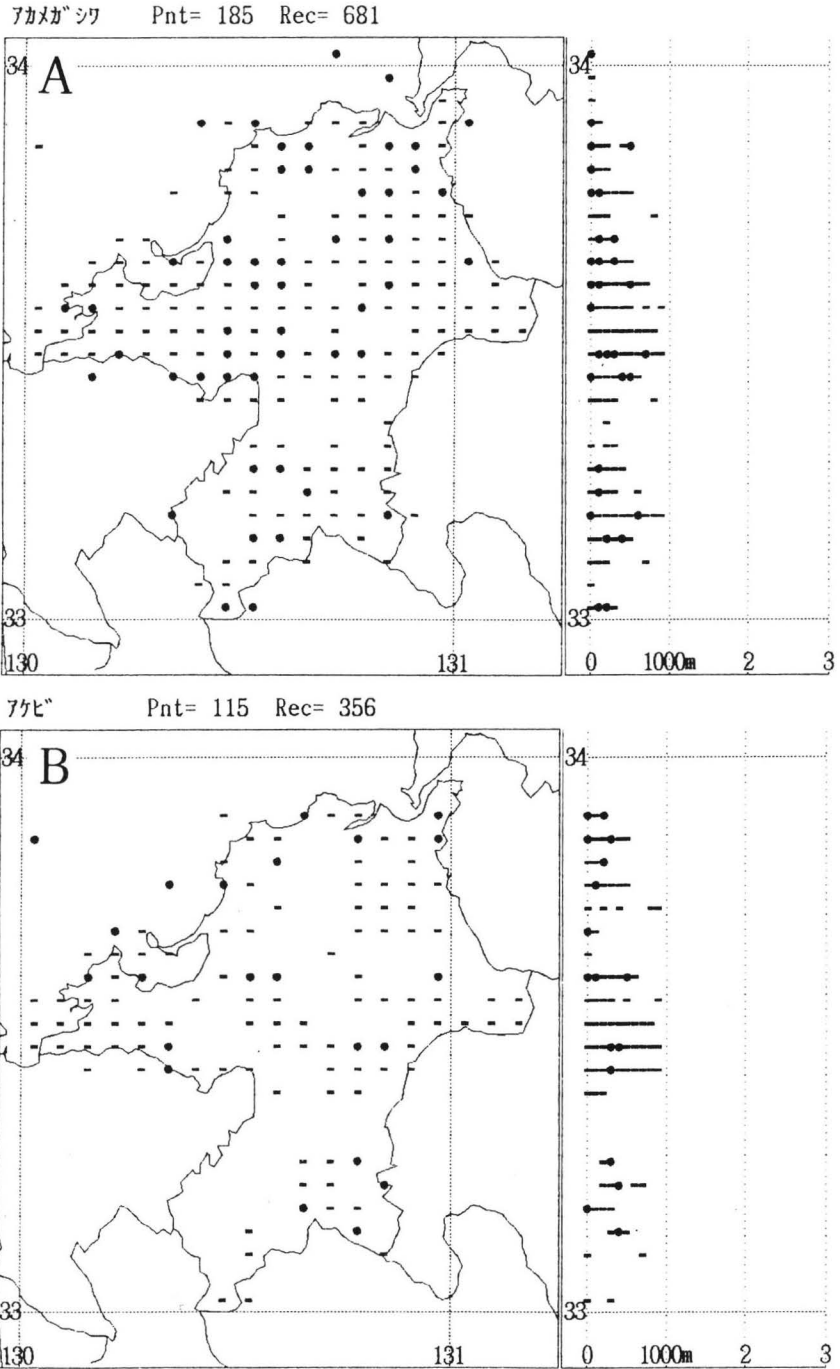


図2. A: *Mallotus japonicus*. ● 標本(Specimen). + 文献(Literature). - 視認(Observation).
B: *Akebia quinata*.

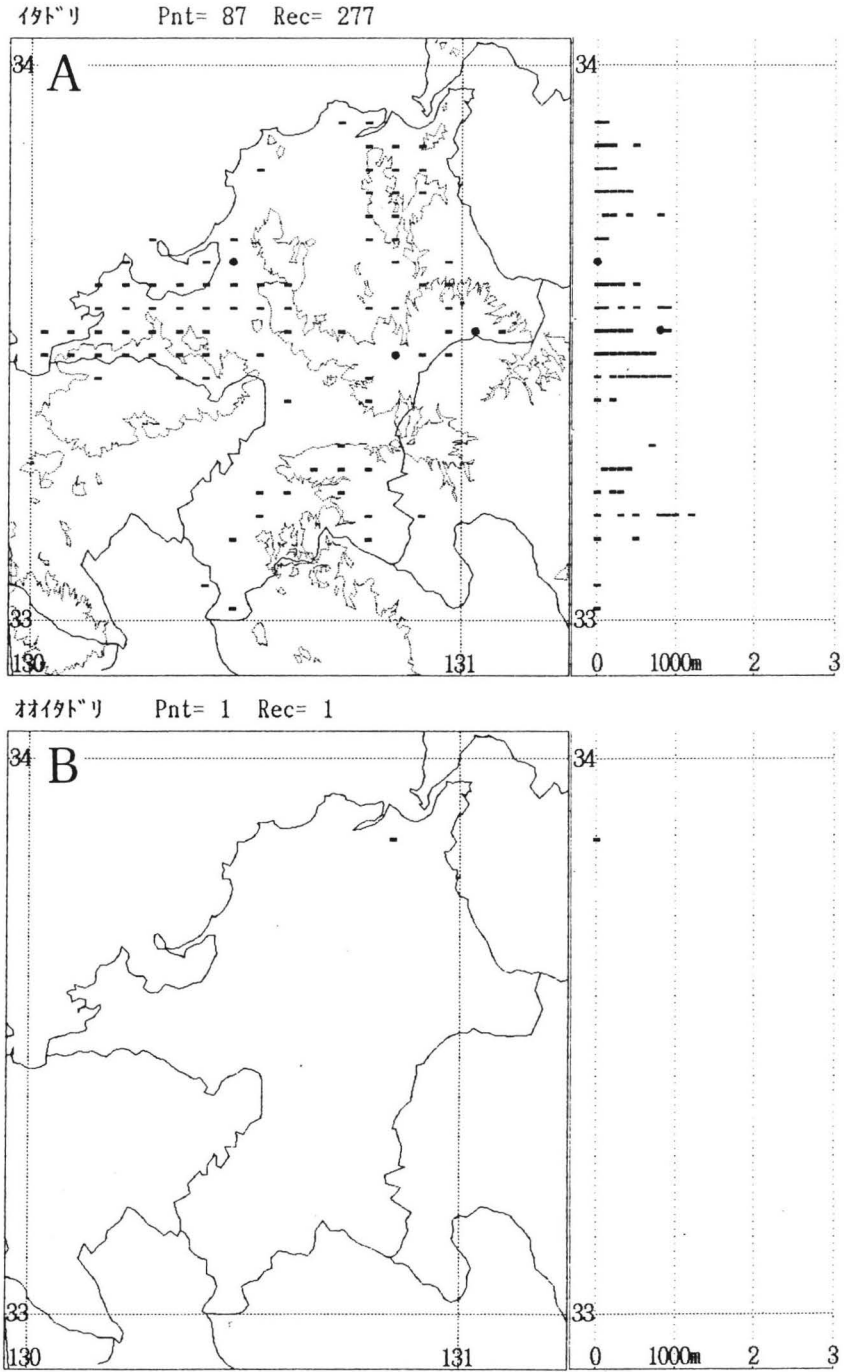
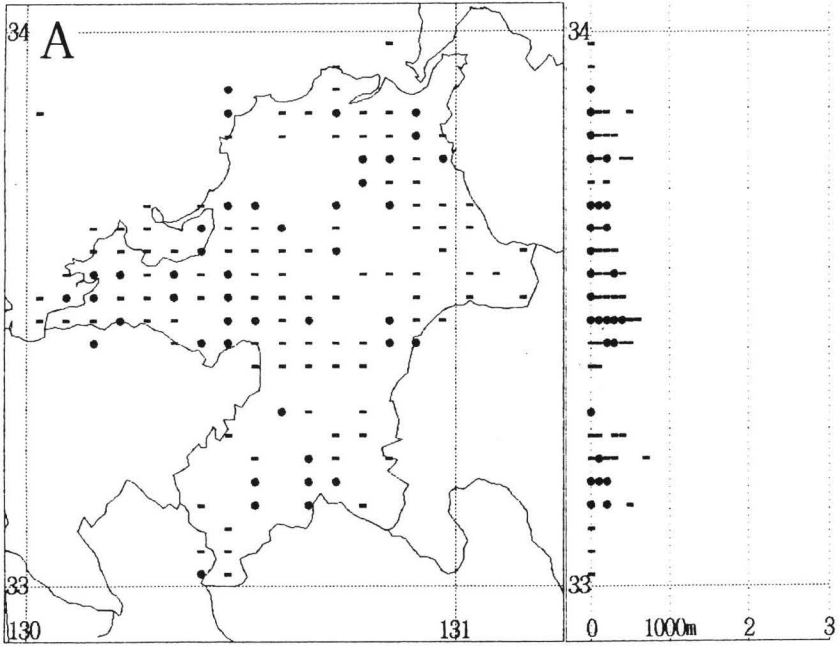


図3. A: *Reynoutria japonica*. B: *Reynoutria sachalinensis*.

オオスノヅケリ Pnt= 138 Rec= 413



オオハコ Pnt= 159 Rec= 543

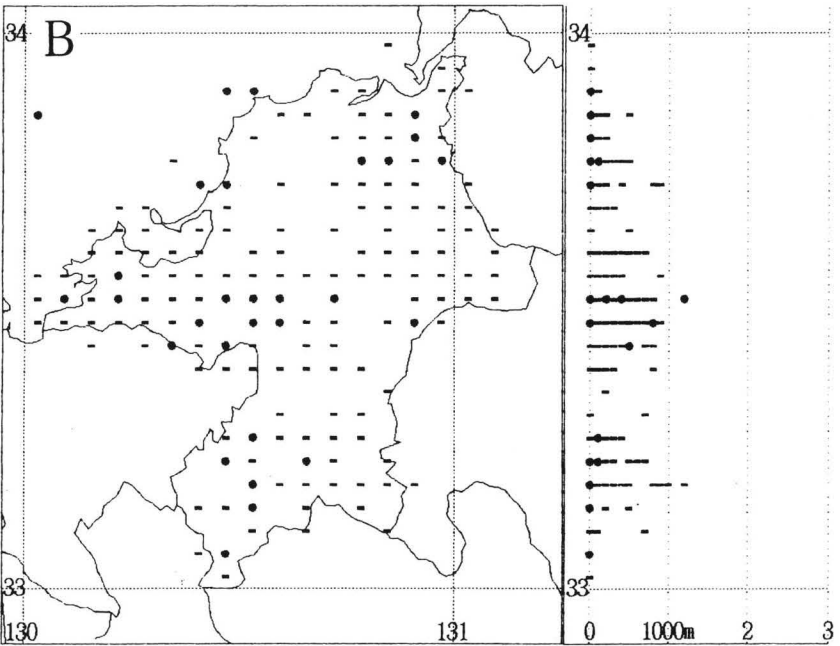
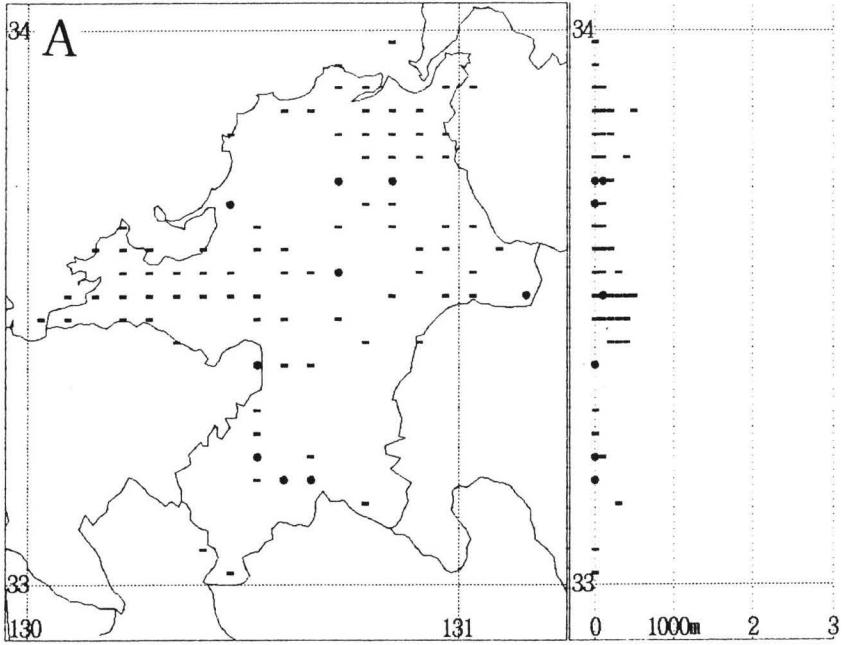


図4. A: *Veronica persica*. B: *Plantago asiatica*.

カナメグサ Pnt= 86 Rec= 173



キツネノマゴ Pnt= 120 Rec= 304

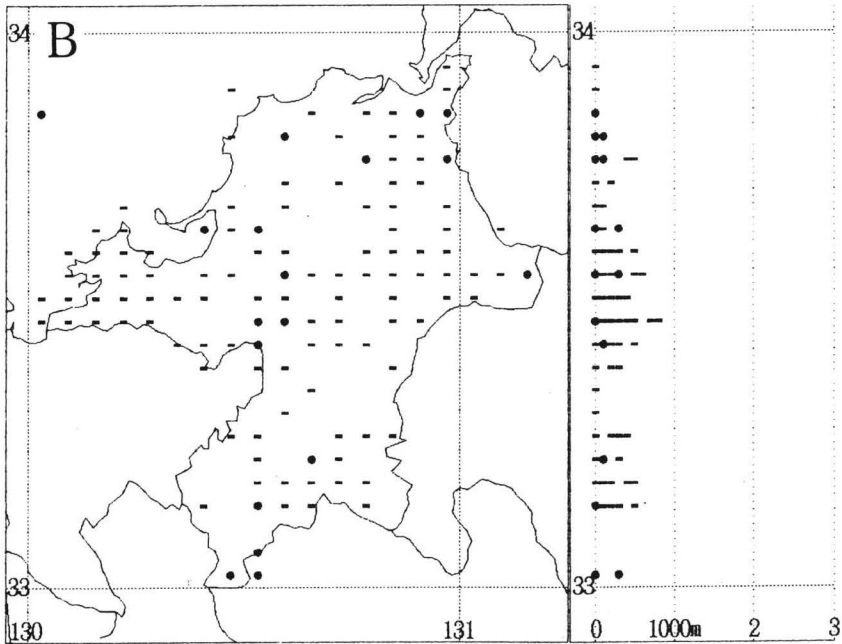


図5. A: *Humulus japonicus*. B: *Justicia procumbens*.

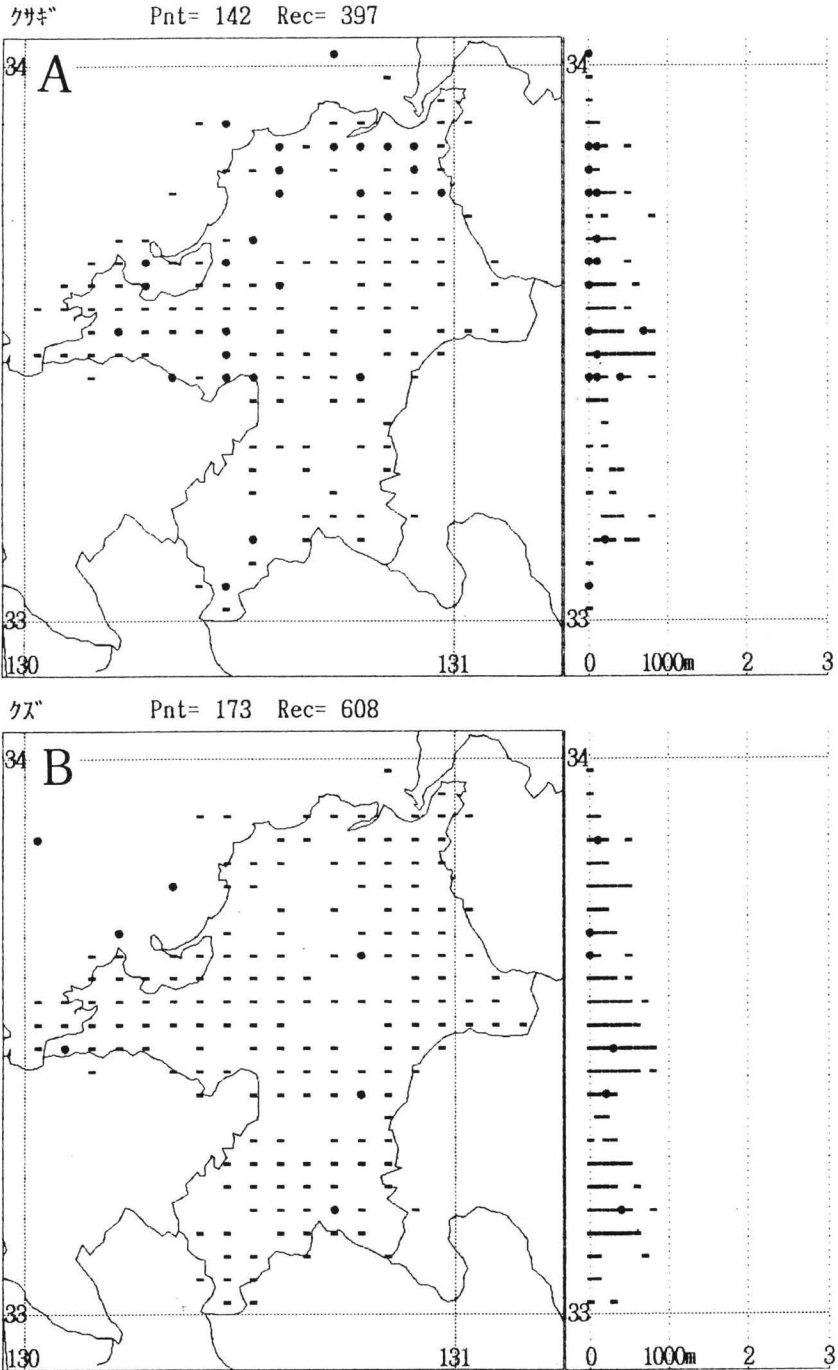
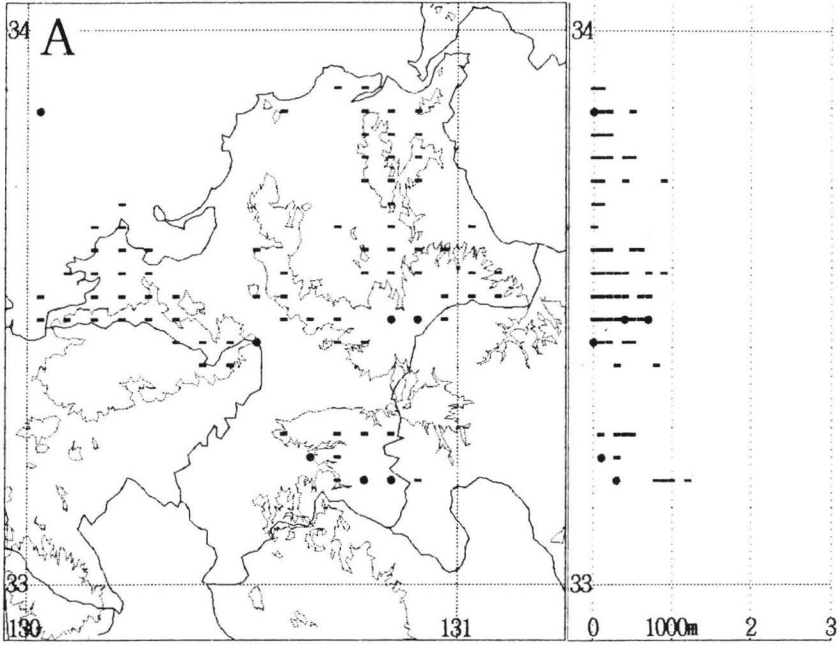


図6. A: *Clerodendrum trichotomum*. B: *Pueraria lobata*.

ゲンシショウコ Pnt= 81 Rec= 260



コマツナギ Pnt= 79 Rec= 168

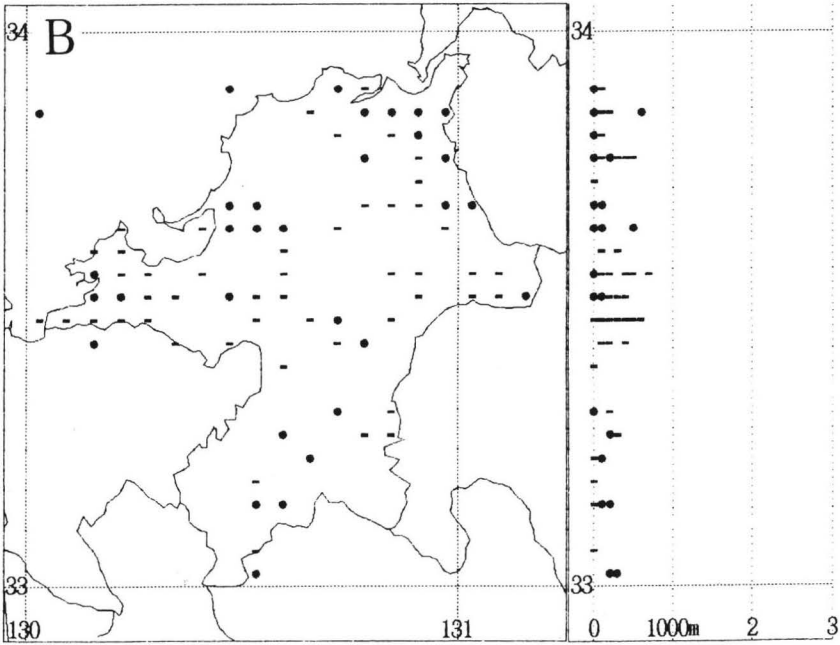
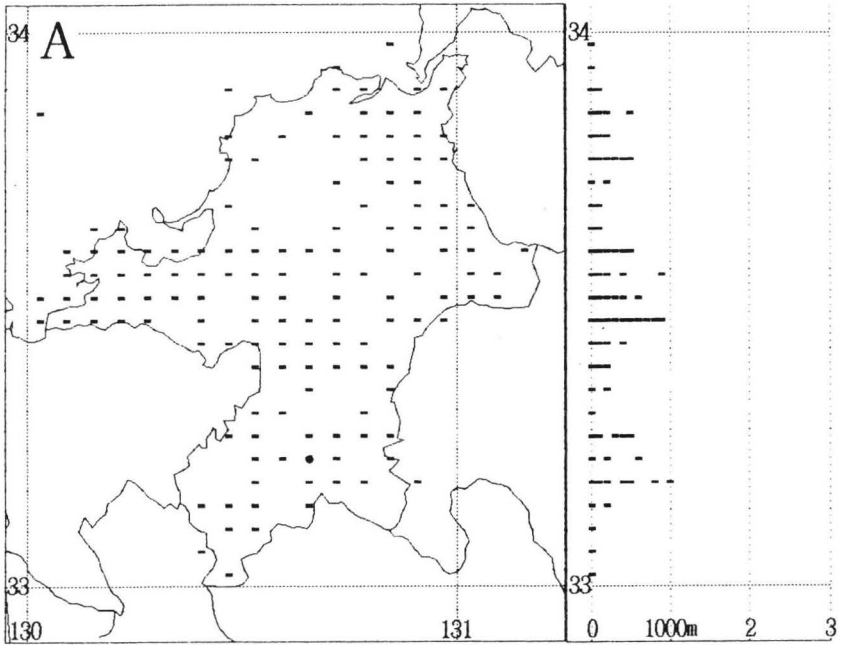


図7. A: *Geranium thunbergii*. B: *Indigofera pseudotinctoria*.

シロツメクサ Pnt= 139 Rec= 378



スイカズラ Pnt= 166 Rec= 526

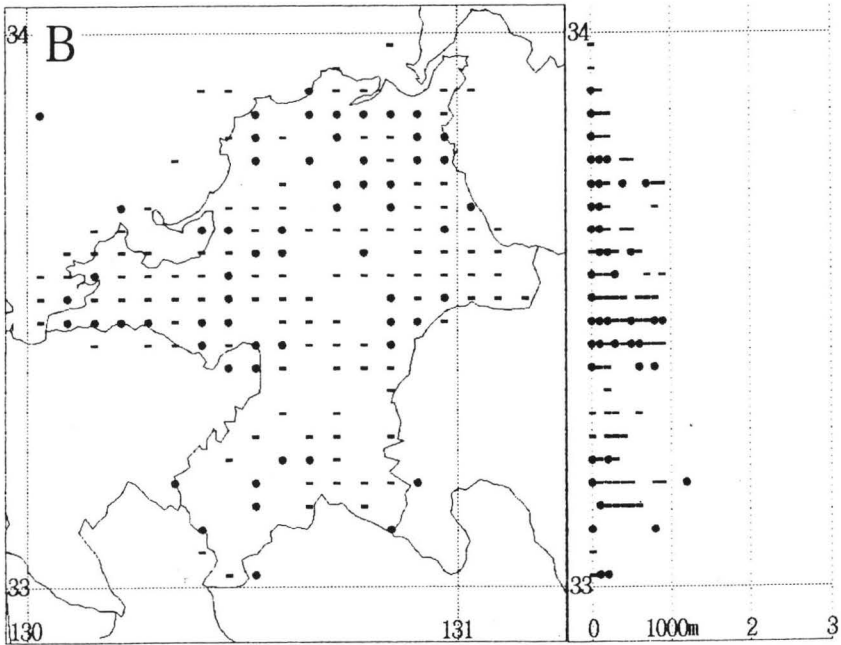
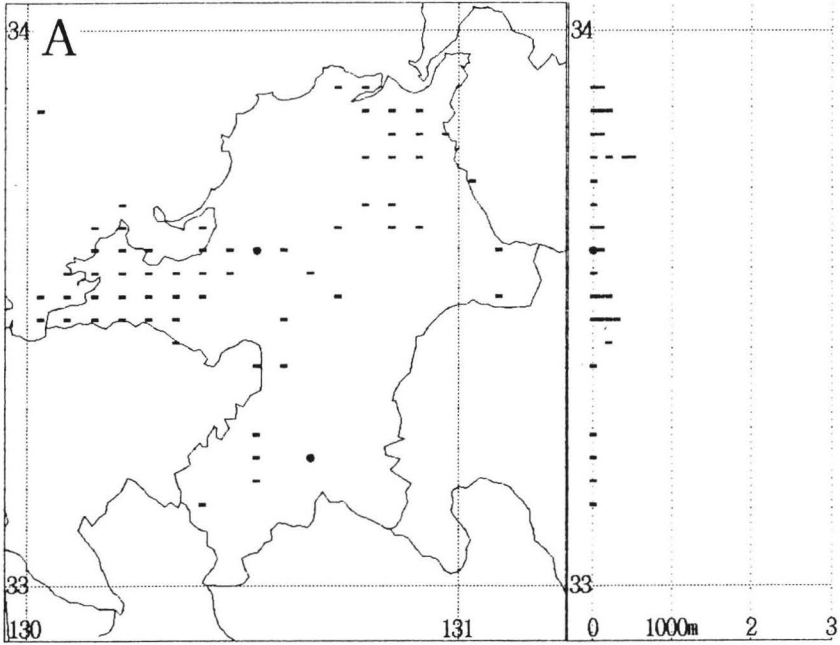


図8. A: *Trifolium repens*. B: *Lonicera japonica*.

スハツヒ Pnt= 62 Rec= 186



タケノグサ Pnt= 12 Rec= 18

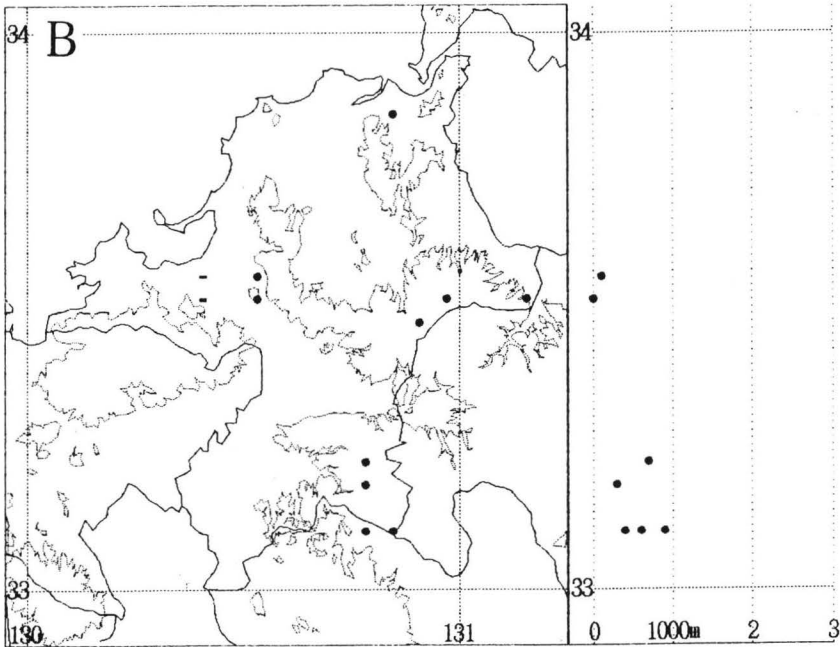


図9. A: *Portulaca oleracea*. B: *Macleaya cordata*.

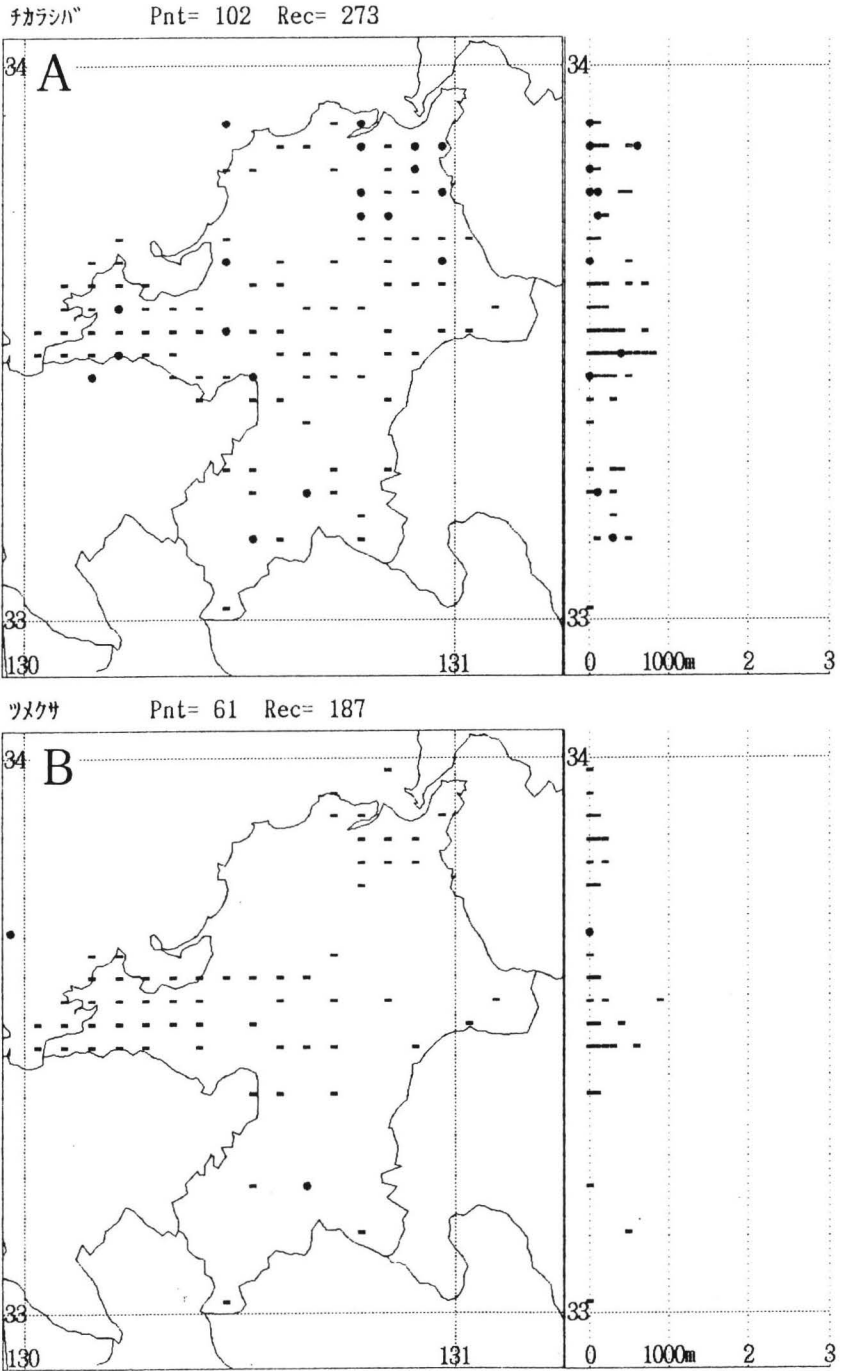


図10. A: *Pennisetum alopecuroides*. B: *Sagina japonica*.

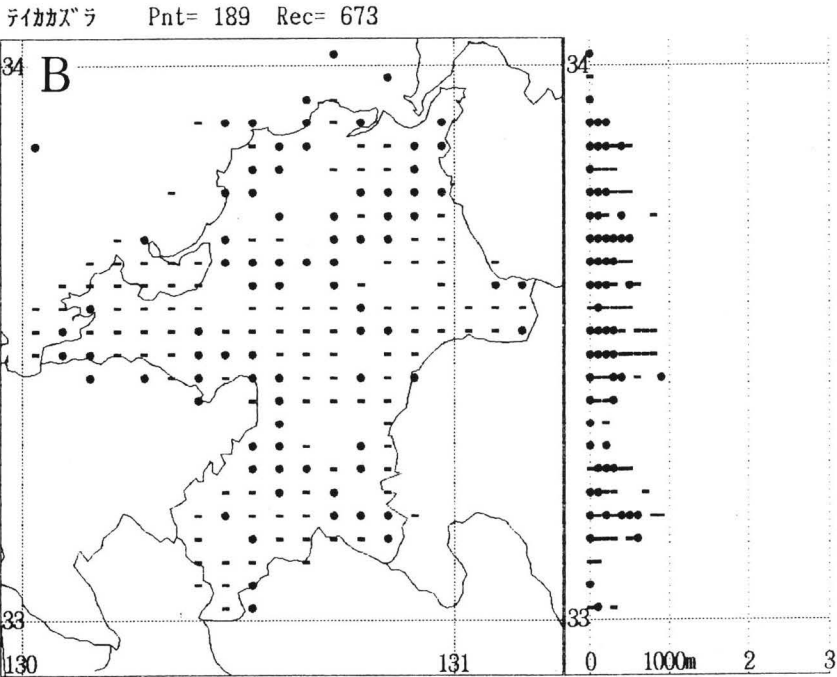
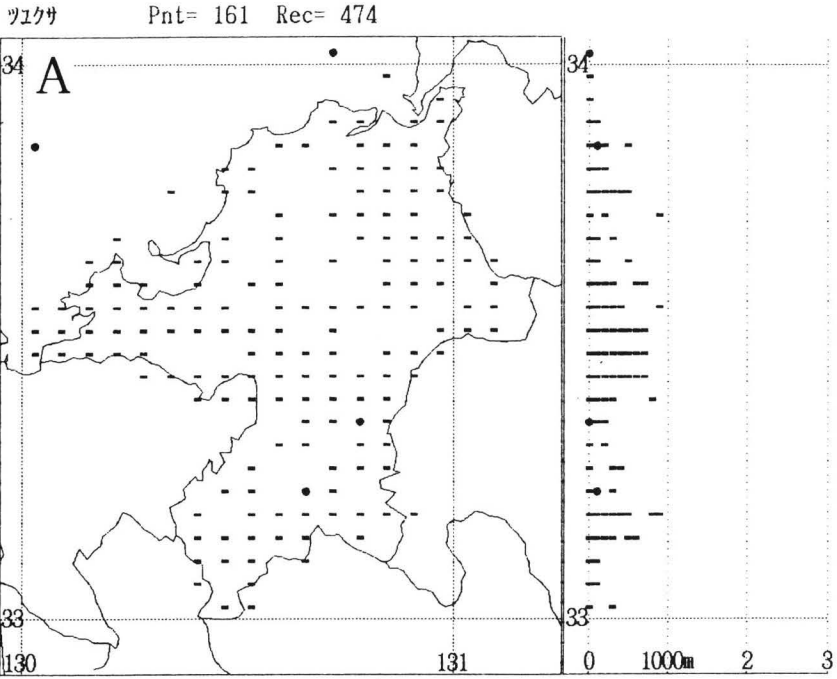


図11. A: *Commelina communis*. B: *Tracherospermum asiaticum*. (incl. *T. jasminoides*).

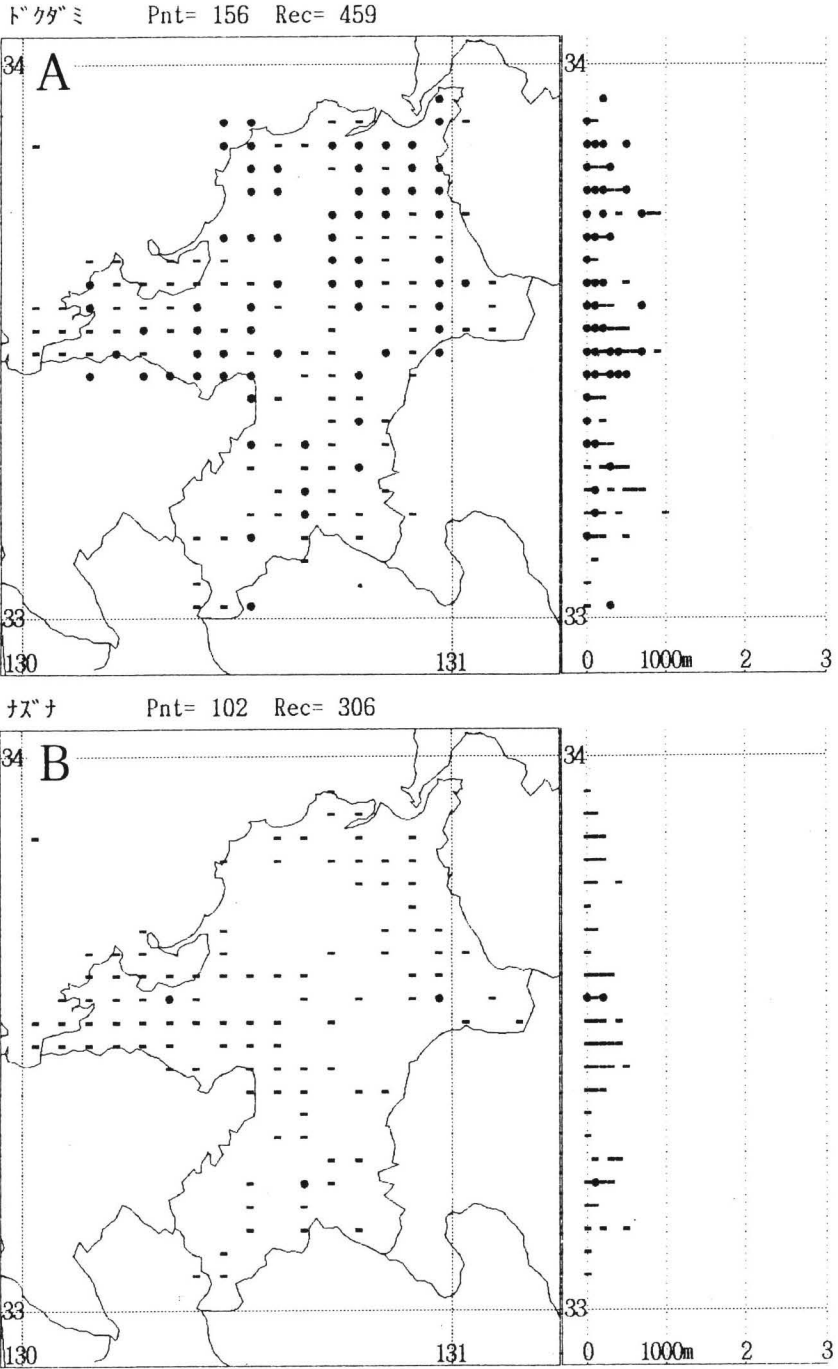


図12. A: *Houttuynia cordata*. B: *Capsella bursapastoris*.

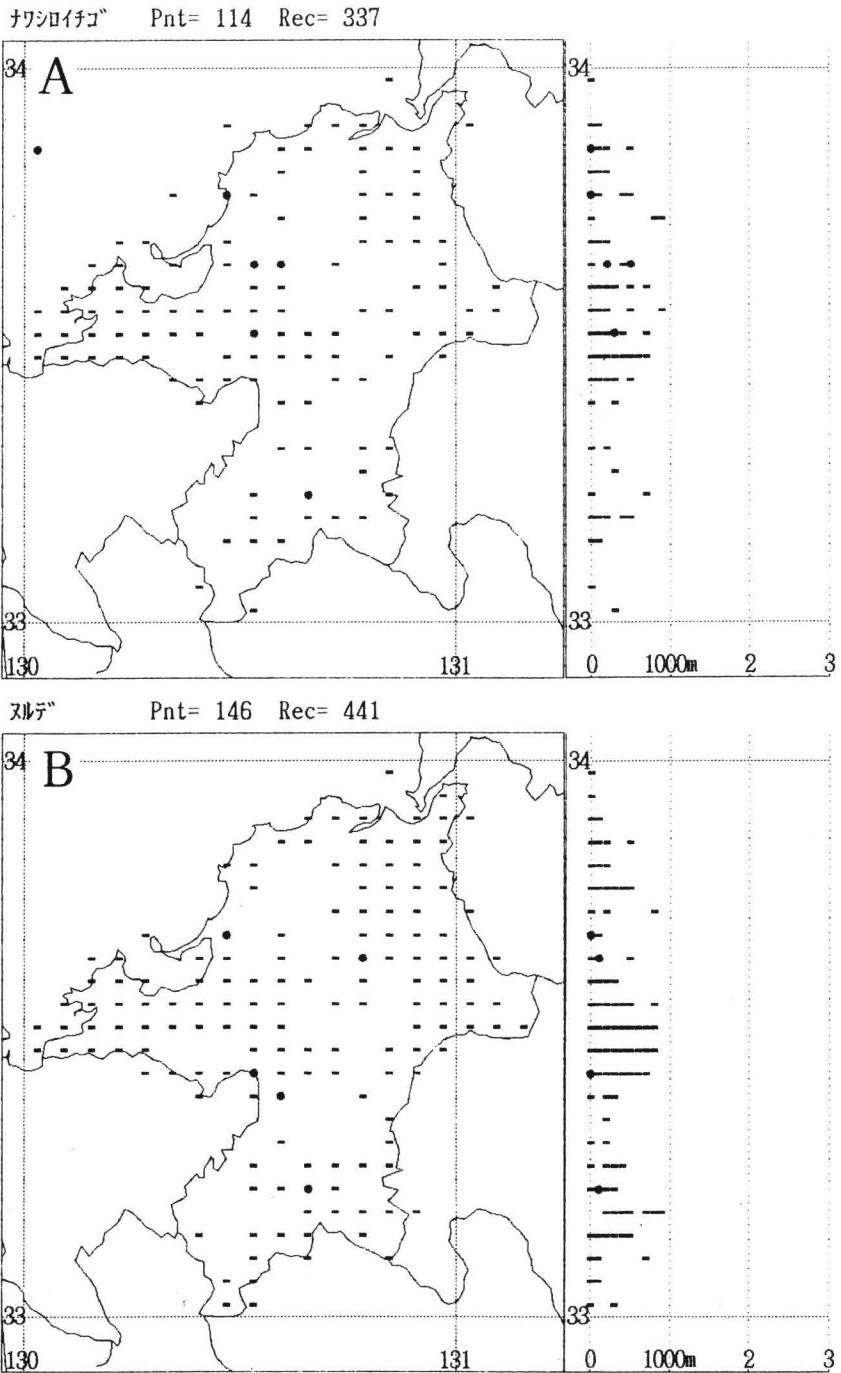


図13. A: *Rubus parvifolius*. B: *Rhus javanica* var. *roxburgii*.

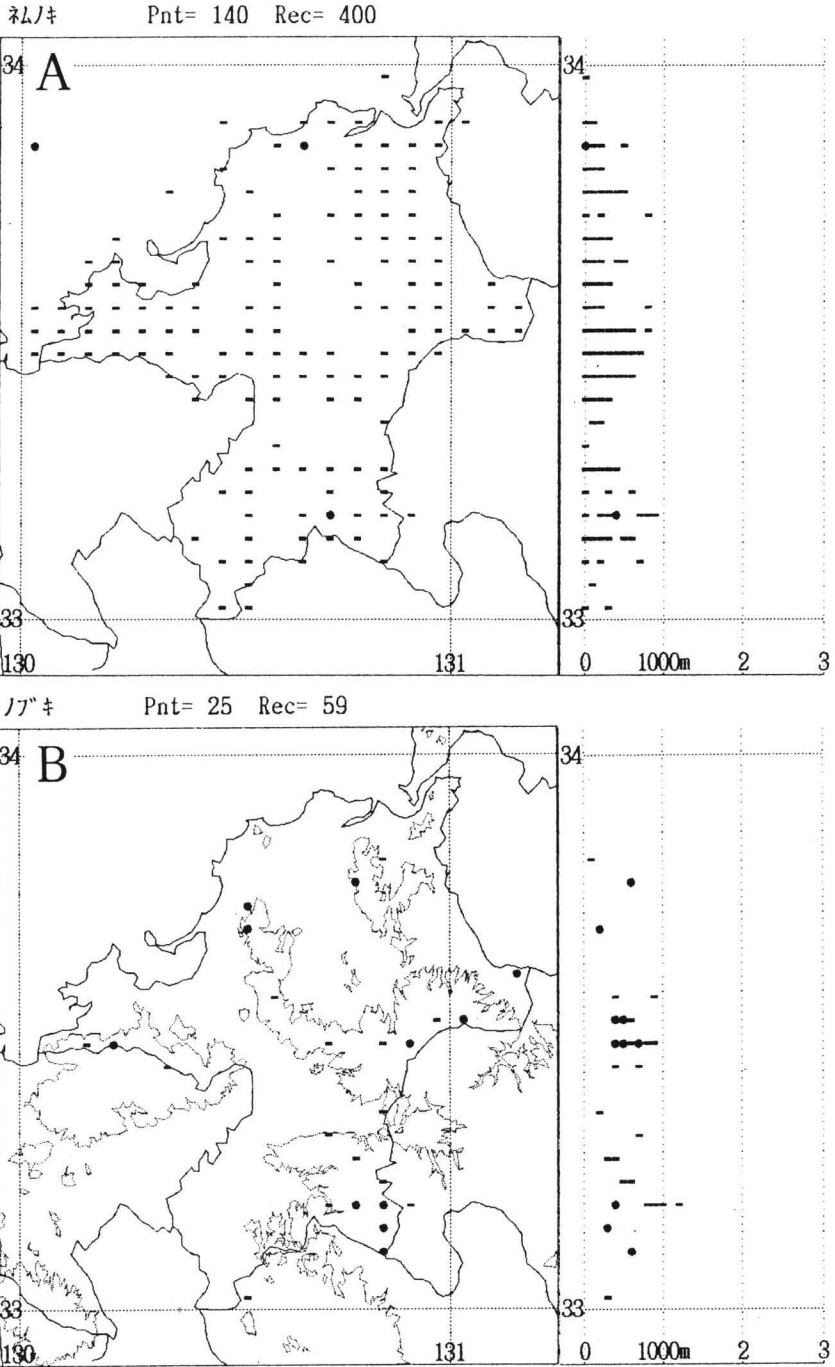


図 14. A: *Albizia julibrissin*. B: *Adenocaulon himalaicum*.

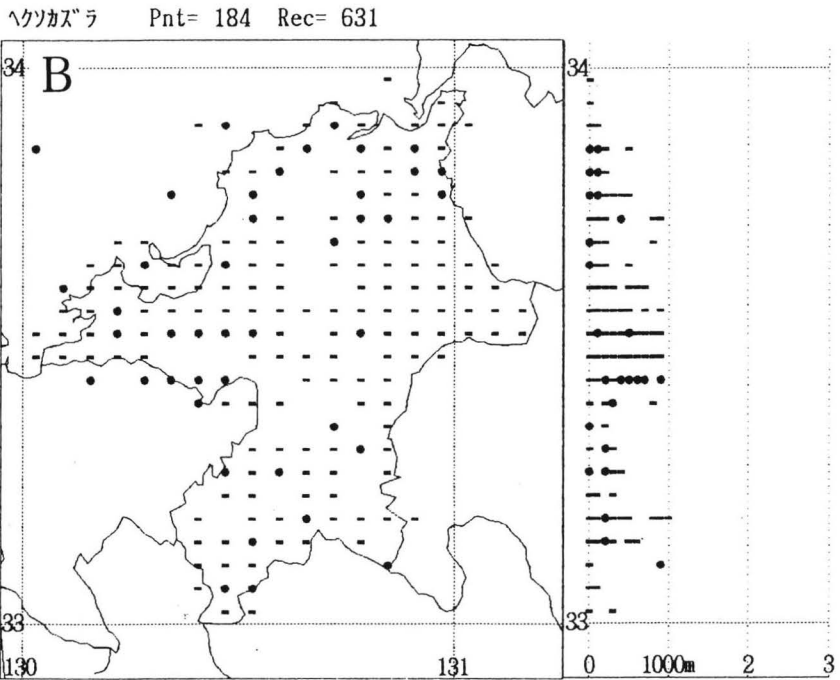
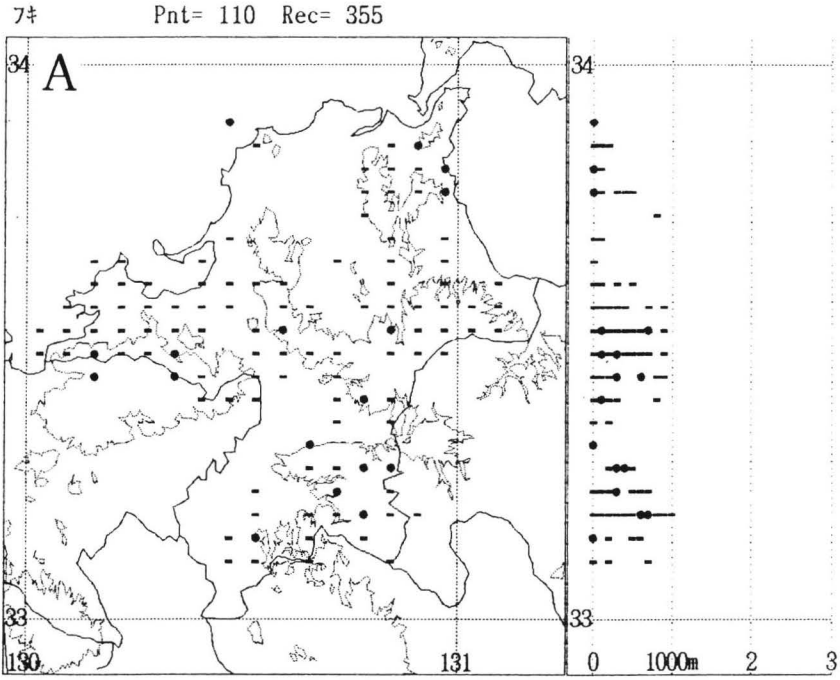
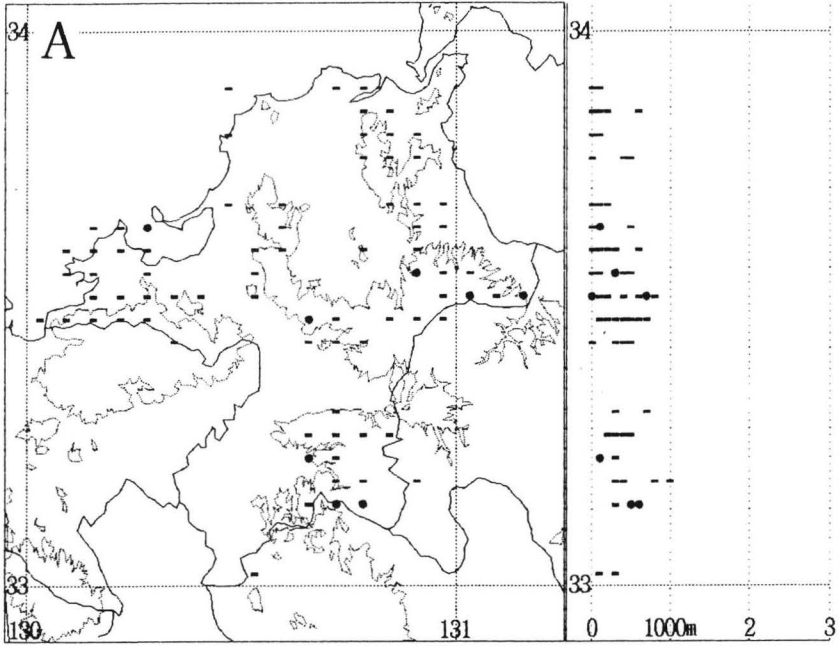


図15. A: *Petasites japonicus*. B: *Paederia scandens*.

ヤクシソウ Pnt= 76 Rec= 155



ヤブカラスシ Pnt= 112 Rec= 343

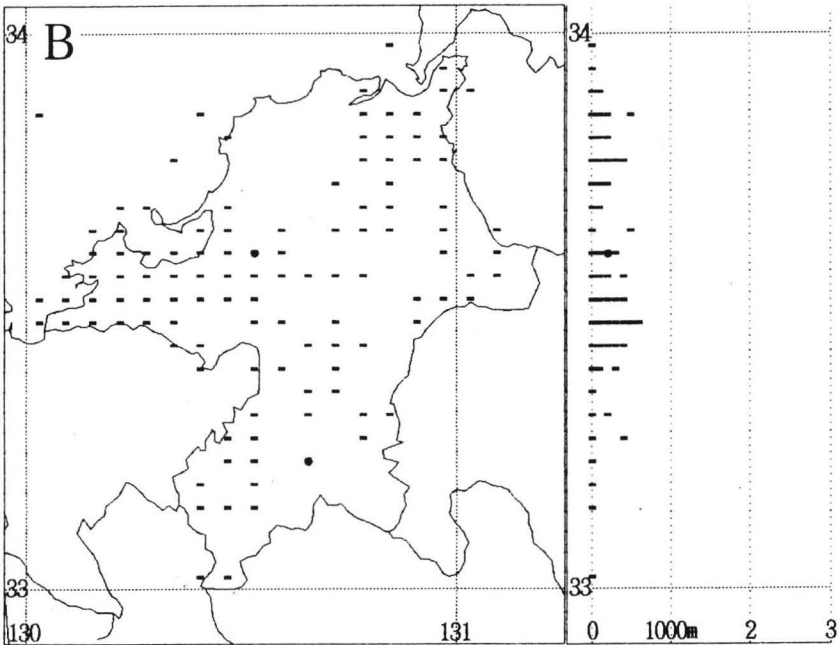


図 16. A: *Youngia denticulata*. B: *Cayratia japonica*.

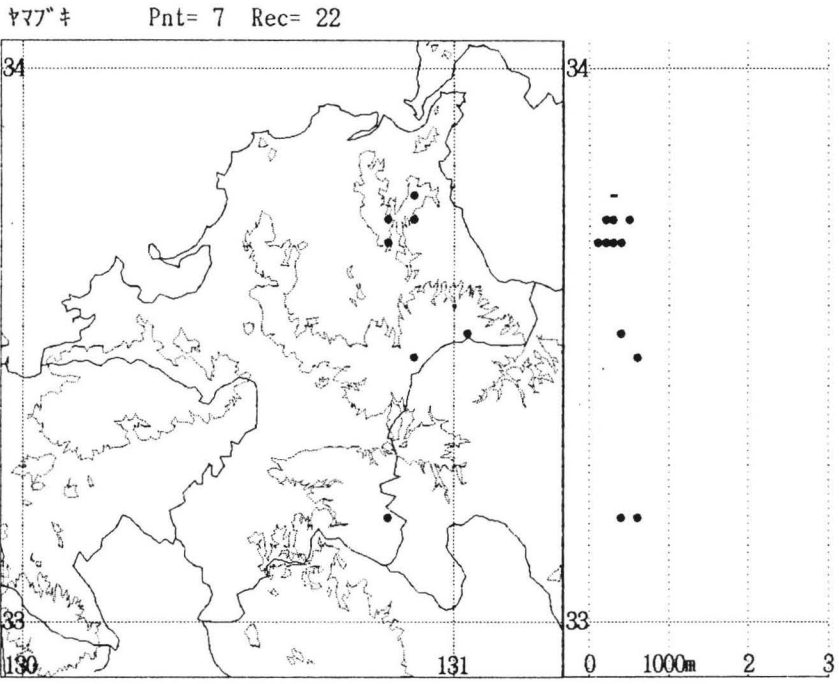


図17. A: *Kerria japonica*.